



## DevAx::connect シーズン 3 「rethink CI/CD」

第1回 「雰囲気でもダン開発手法の実践をしている人のための  
CI/CD 再入門」

杉本 晋吾

ソリューションアーキテクト  
アマゾンウェブサービスジャパン合同会社

[sugishin@amazon.co.jp](mailto:sugishin@amazon.co.jp)

# 自己紹介

## 杉本 晋吾 Shingo Sugimoto

技術統括本部 インダストリーソリューション部

ソリューションアーキテクト (SA)



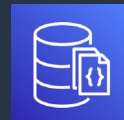
AWS をこれから使い始める方、今後もっと AWS を活用したい、  
というお客様向けに、お客様個別の IT 課題解決や技術テーマを中心に、  
お客様と共に様々な課題に取り組む「伴走者」として活動中です。

AWS SA ← (IT コンサル CTO ← ソフトハウス CEO ← アパレル会社 CIO ← EC ベンダー CTO) 兼プログラマー

## 好きなAWSサービス



AWS App Runner, AWS Fargate



Amazon DocumentDB

# 内容についての注意点

- 本セッションでは 2022 年 4 月 1 日現在のサービス内容および価格についてご説明しています。
- 最新の情報はAWS公式ウェブサイト (<http://aws.amazon.com>) にてご確認ください。
- 資料作成には十分注意しておりますが、資料内の価格とAWS公式ウェブサイト記載の価格に相違があった場合、AWS 公式ウェブサイトの価格を優先とさせていただきます。
- 価格は税抜表記となっております。日本居住者のお客様には別途消費税をご請求させていただきます。
- AWS does not offer binding price quotes. AWS pricing is publicly available and is subject to change in accordance with the AWS Customer Agreement available at <http://aws.amazon.com/agreement/>. Any pricing information included in this document is provided only as an estimate of usage charges for AWS services based on certain information that you have provided. Monthly charges will be based on your actual use of AWS services, and may vary from the estimates provided.

# はじめに **DevAx::connect** とは

# DevAx::connect

開発者のための開発者による Web セミナーシリーズ



<これまでのシリーズ> <https://bit.ly/3Lht3u3> にて公開中

Season1: イベント駆動

Season2: Challenge to NoSQL

番外編: CDK 実践勉強会

番外編: AWS App Runner 1周年記念

# DevAx::connect シーズン 3 「rethink CI/CD」

開発者のための開発者による Web セミナーシリーズ



<開催時期>

2022/4/7 ~ 4/28、6/2 ~ 6/23 毎週木曜日 16:00 ~ 18:00 に開催予定

<前半セッションタイトル> → 主に「CI (継続的インテグレーション)」が中心テーマ

1. 雰囲気でもダン開発手法の実践をしている人のための CI/CD 再入門
- 2a. 適材適所で選ぶ CI/CD パイプライン構築サービス&ツール
- 2b. 複雑化する DevOps を可視化しよう ~ CI / CD を整えてからの次の一歩
3. トランクベース開発で信頼できる CI を実践する
4. スペシャルセッション (近日公開)

# DevAx::connect シーズン 3 「rethink CI/CD」

開発者のための開発者による Web セミナーシリーズ



<開催時期>

2022/4/7 ~ 4/28、6/2 ~ 6/23 毎週木曜日 16:00 ~ 18:00 に開催予定

<後半セッションタイトル> → 近日公開：主に「CD (継続的デリバリー/デプロイ)」中心

# FAQ

## Q. 毎回の参加は必須ですか?

A. 各回は独立して受講しても理解できるように構成しています。  
また、毎回初回に前回の振り返りを行います。

## Q. 後から動画を見返すことはできますか?

A. 終了後、動画/資料は公開される予定です。

## Q. ブログなどで紹介してもよいですか?

A. 是非!! 公開したら教えてください!!




# 参加者の皆様へ

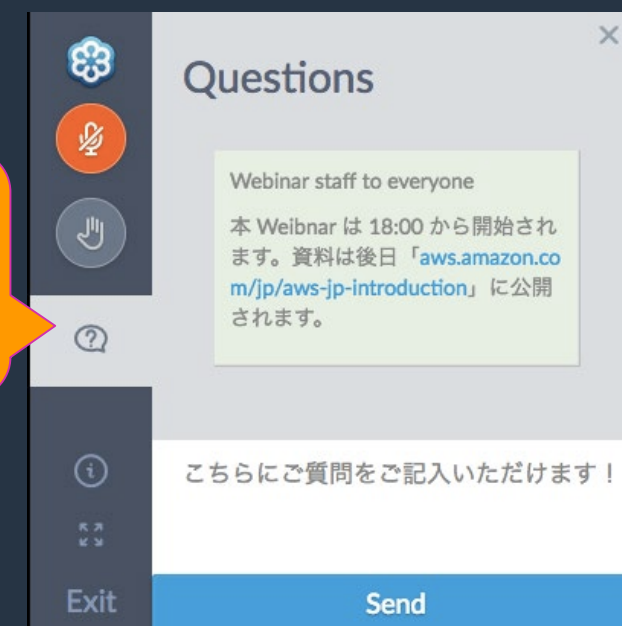
- ハッシュタグあります!! 

**#devaxconnect** にて、感想/質問など自由に投稿ください

- セッション終了後に QA にお答えします

- Go To Webinar の QA 機能
- ハッシュタグ  #devaxconnect にて、ご質問を投稿ください  
登壇者がピックアップして回答します

- ① 吹き出しをクリック
- ② 質問を入力
- ③ Sendをクリック



- 休憩はありません

# アンケートご協力をお願い

## セッション終了後のアンケートにご協力ください!!

- 登壇者へのフィードバック
- 次回以降の DevAx::connect について
  - 開催方法や時間帯など
  - 取り上げて欲しいテーマ

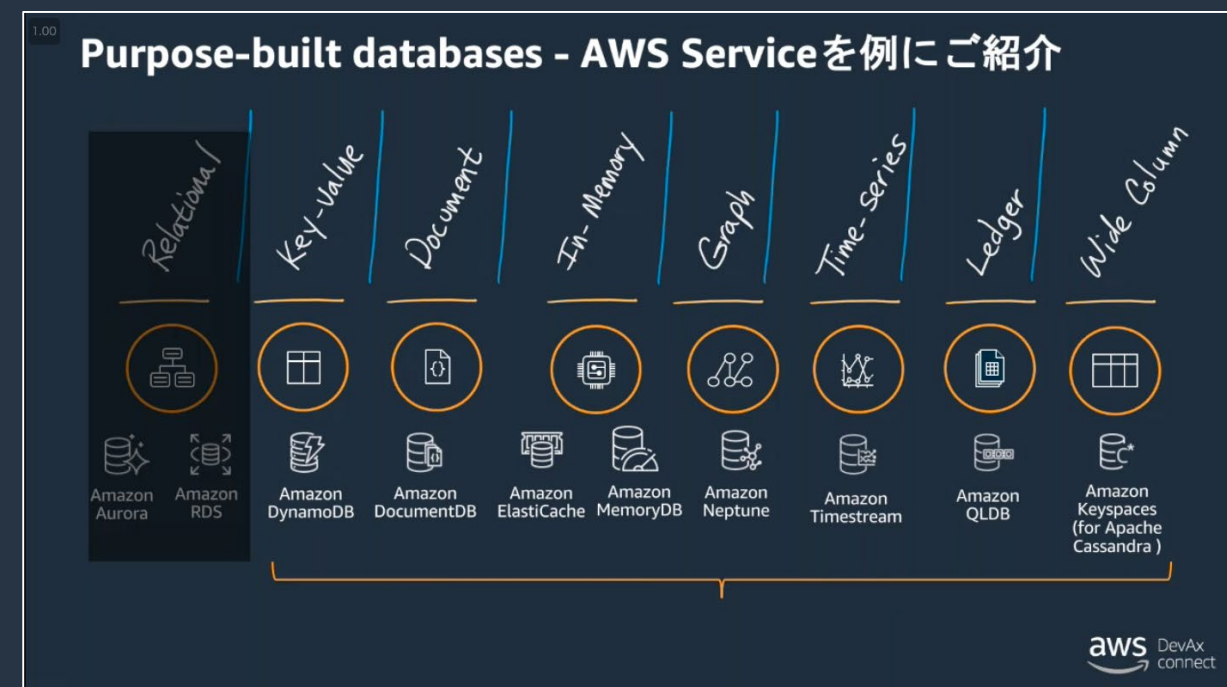
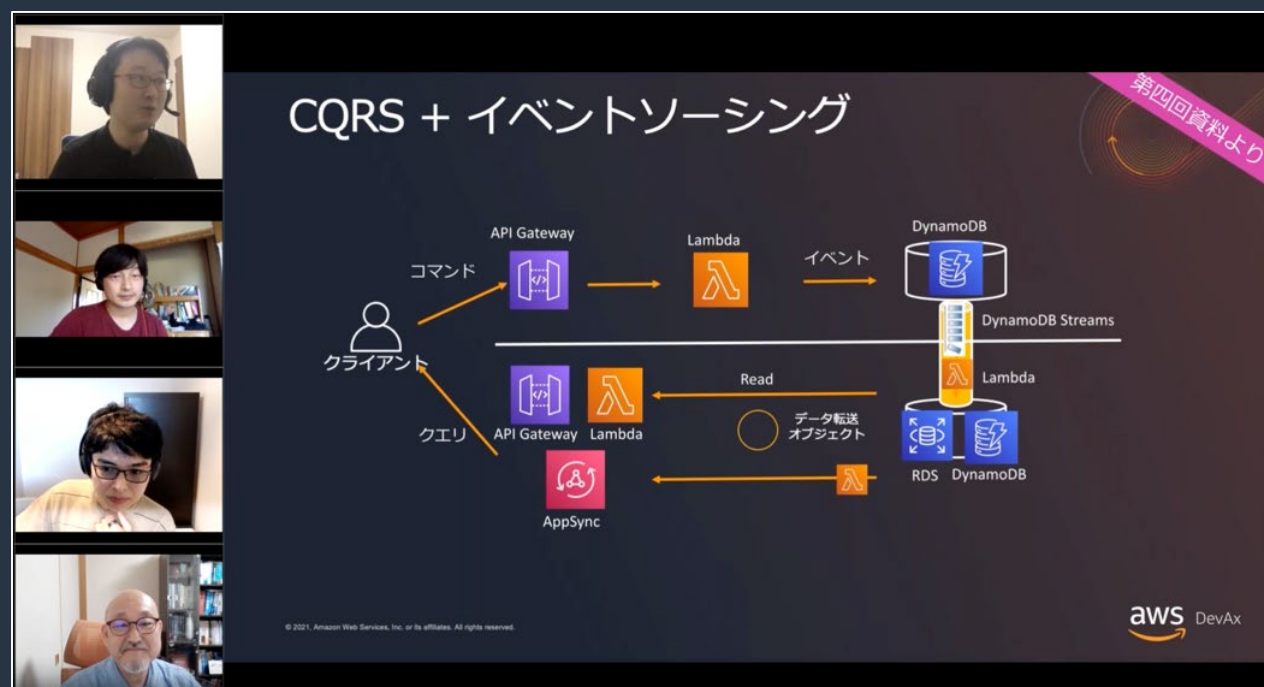
DevAx::connect は 皆さんと共に作っていきたいと考えています!!

# 参考コンテンツ/イベントのご紹介

# AWS DevAx::connect

開発者のための開発者による Web セミナーシリーズ

シーズン1「イベント駆動」、シーズン2「Challenge to NoSQL」  
をTwitchにて配信中!!



<https://www.twitch.tv/devaxconnect/videos>



#devaxconnect

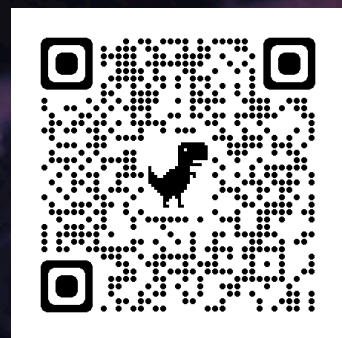
# AWS Developer Live Show

## Infrastructure as Code 談義 2022

日時: 4/26(火) 17:00-18:00

下記からチャンネル登録/リマインダーオン!

<https://bit.ly/3tNjIEo>



今後のスケジュールはこちらでご確認ください!

<https://go.aws/353zPUO>



吉田 祐樹

プロフェッショナルサービス



内田 大樹

ソリューションアーキテクト





UNREAL  
ENGINE

# Unreal Engine5 × Amazon GameLift Game Day

【Unreal Engine 5 × Amazon GameLift Game Dayを開催します！】

4/6にGAとなったUnreal Engine5の高品質なコンテンツを使い、Amazon GameLiftに接続して手軽にマルチプレイゲームを作成します！作成したゲームは実際に参加者の皆様にプレイして遊んで体験いただけます！楽しみながら学習いただけるようコンテンツをご用意しておりますので、是非奮ってご参加ください！！

2022年4月20日(水) 13:00 ~ 17:00 オンライン開催 参加無料

参加方法：以下のURLより事前登録をお待ちしています！

<https://amazongametechnight2022mar.splashthat.com/>

# builders.flash

デベロッパーの皆様へ向けて AWS を通じて様々な体験や学びをご提供するウェブマガジン

様々な AWS サービスの選択肢を発見していただき、クラウドの活用方法の理解を深めていただくことができます。



- サーバーレス、コンテナ、IoT、機械学習をはじめとしたクラウド最新技術動向の解説記事
- 日常に身近なテーマで AWS 活用方法を習得できるハンズオン
- グラフィックレコーディングを使った AWS サービス解説
- 開発における困難、悩みの解決のヒントとなる開発者インタビュー
- 初心者デベロッパー向けお悩み解決記事
- Enterprise Developer 向けソリューション解説記事

無料メールメンバー登録で、メンバー限定特典もご提供

<https://aws.amazon.com/jp/builders-flash/>



# AWS Hands-on for Beginners

- 動画にそって実際に **手を動かしながら AWS の使い方を学ぶ** 無償コンテンツ
- **オンデマンド** 形式で公開しており、いつでもどこでもご視聴いただける
- **短い動画 x 5-10本** という形式でスキマ時間でも学ぶことが可能
- 現在、**22** のコンテンツを公開中

「AWS ハンズオン」で検索 or  
クラウド活用資料集 > ハンズオン資料 

## AWS ハンズオン資料

AWS をステップバイステップでお試しいただくのに役立つ動画および資料を掲載しています。

その他の資料は以下をご覧ください。

[初心者向けの資料](#) >

[サービス別の資料](#) >

[AWS オンラインセミナースケジュール](#) >

[AWS クラウドサービス活用資料集トップ](#) >

## AWS 初心者向けハンズオン

AWS 初心者向けに「AWS Hands-on for Beginners」と題し、初めて AWS を利用する方や、初めて対象のサービスに触る方向けに、操作手順の解説動画を見ながら自分のペースで進められるハンズオンをテーマごとにご用意しています。

<p><b>ハンズオンははじめの一步: AWS アカウントの作り方 &amp; IAM 基本のキ</b> &gt;</p>  <p>AWS アカウントの作成と IAM に関する説明/ハンズオンを行います。IAM ユーザーや IAM ポリシーなどの基本がわかり設定できるようになります。</p>	<p><b>Security #1 アカウント作成後すぐやるセキュリティ対策</b> &gt;</p>  <p>AWS アカウント取得後まず最初にやっておきたい最低限の機能の有効化方法と、それらの確認方法について学べます。</p>	<p><b>Network編#1 AWS上にセキュアなプライベートネットワーク空間を作成する</b> &gt;</p>  <p>Amazon VPC の基本および VPC 内の通信と VPC から VPC 外に接続する方法について学べます。</p>
<p><b>Network編#2 Amazon VPC間およびAmazon VPCとオンプレミスのプライベートネットワーク接続</b> &gt;</p> 	<p><b>Network編#3 クライアントVPNをつかって、リモート接続環境を構築しよう</b> &gt;</p>  <p>ハンズオンのアーキテクチャ</p>	<p><b>スケーラブルウェブサイト構築編</b> &gt;</p>  <p>AWS Hands-on for Beginners スケーラブルウェブサイト構築編</p>



# 本日のテーマ

# DevAx::connect シーズン 3 「rethink CI/CD」

開発者のための開発者による Web セミナーシリーズ

 #devaxconnect

← rethink CI/CD →

4/7  
CI/CD再入門

4/14  
CI/CDツール

4/14  
CI/CD可視化

4/21  
トランクベース

4/28  
スペシャル



令和も早や 4 年。私たちは「CI/CD」をできているのか

# CI/CDとは

継続的インテグレーション  
Continuous Integration (CI)

+

継続的デリバリー/デプロイ  
Continuous Delivery/Deployment (CD)

# リリースプロセスのステージ



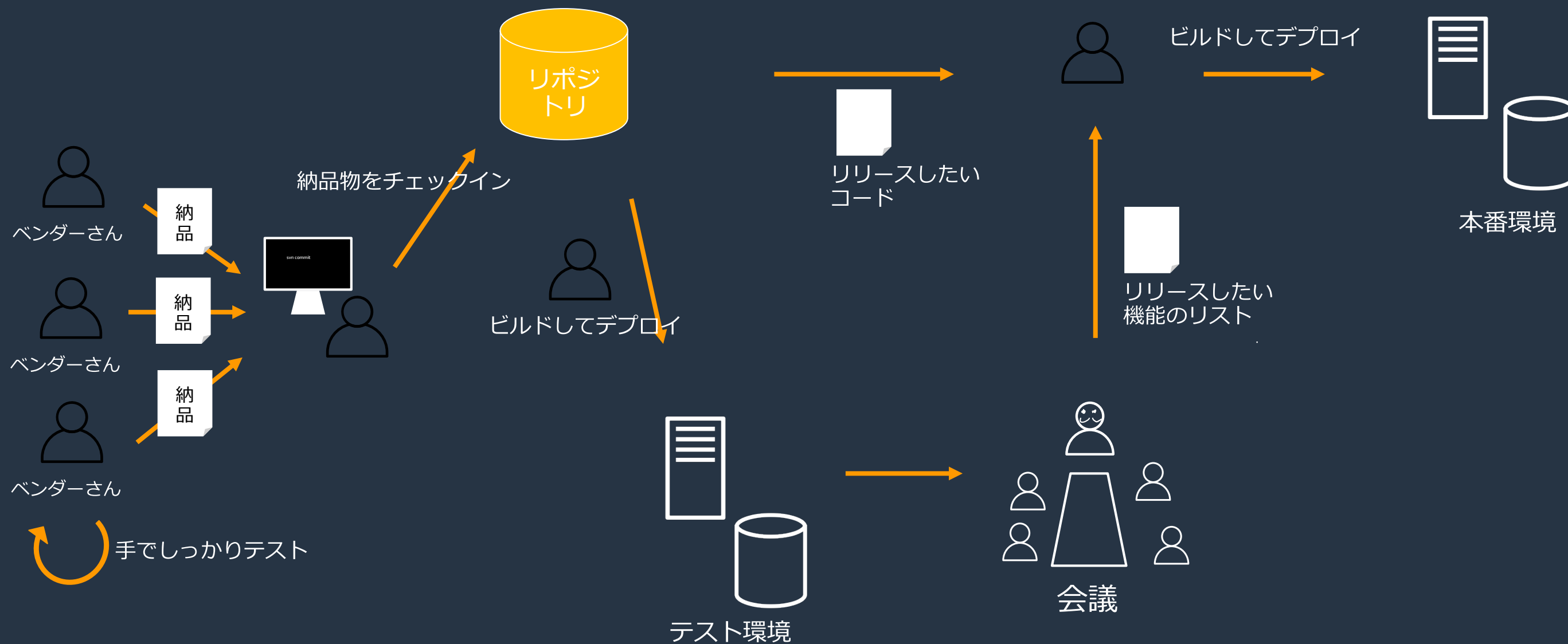
CI : 継続的インテグレーション

CD : 継続的デリバリー

別のCD : 継続的デプロイメント



# 例：とある企業の開発アプローチ



# CI/CDの導入

- **CI準備編**

1. コードのバージョン管理できてますか？
2. ユニットテスト書いてますか？
3. ビルドは自動化出来ていますか？

- **CI接続編**

4. ビルドとテストを自動化する環境はありますか？
5. Webhookは使っていますか？
6. チェックインのルールを決めていますか？

- **CDステージ構築編**

7. CIできてますか？
8. テストを人に頼っていませんか？
9. デプロイは自動化してますか？

- **CDパイプライン構築編**

10. 本番環境のデプロイは安全に素早く出来ていますか？
11. CDツールは使っていますか？

# Agenda

- CI/CD とは
  - CI/CD の目的
  - CI の導入
  - CD の導入
- QA タイム



- CI/CD とは
  - CI/CD の目的
- QA タイム
- CI の導入
- QA タイム
- CD の導入
- QA タイム

# 第1回 雰囲気でもダン開発手法の実践をしている人のためのCI/CD再入門

**野村 侑志**

アマゾンウェブサービスジャパン合同会社  
ソリューションアーキテクト



CI/CD は組織で使っているけれど、なぜ CI/CD を使わないといけないかや具体的にどんないいことがあるのかが曖昧になっていませんか？本セッションでは、歴史的な背景やどのような意図で CI/CD を行うべきなのかという根本的な部分を見直すことによって、自分の開発環境の全体像を理解したり見直したりするきっかけにさせていただくことを目的にしています。



# 本日 QA にお答えする SA のご紹介 #1

## 大村 幸敬（おおむら ゆきたか）

アマゾンウェブサービスジャパン合同会社  
シニアソリューションアーキテクト

- 運用系サービス & DevOps 系サービスをリード
- Baseline Environment on AWS (BLEA) 開発者



DevOpsスタイルの自社サービス開発、SAとして見てきた  
多様な開発スタイル、これまでの業界経験をもとに  
お答えしたいと思います！



#devaxconnect

# 本日 QA にお答えする SA のご紹介 #2

白石 一乃

アマゾンウェブサービスジャパン合同会社  
ソリューションアーキテクト



CI/CD を導入したいけれど、複雑な既存システム、予算の壁、リソースの壁などでなかなか導入が進まない・・・

本日はそんな一人の開発者、プロジェクト管理者の目線で、CI/CD をどう取り組むべきか、どこから手をつけるべきか、考えながら参加させていただきます！



# 第1回 雰囲気でもダン開発手法の実践をしている人のためのCI/CD再入門

**野村 侑志**

アマゾンウェブサービスジャパン合同会社  
ソリューションアーキテクト



CI/CD は組織で使っているけれど、なぜ CI/CD を使わないといけないかや具体的にどんないいことがあるのかが曖昧になっていませんか？本セッションでは、歴史的な背景やどのような意図で CI/CD を行うべきなのかという根本的な部分を見直すことによって、自分の開発環境の全体像を理解したり見直したりするきっかけにさせていただくことを目的にしています。



*#devaxconnect*

Thank you!